

C/O Osaka Higasi YMCA  
3-1-18 Mikuriya Minami  
Higasi-Osaka JAPAN  
577-0034  
<http://kawachi-ys.org>



# The Y's Men's Club Of OSAKA-KAWACHI

Chartered Sep.29 1975 "To Acknowledge The Duty That Accompanies Every Right"

2018年6月報

Vol. 512

6月1日発行

## 2017～2018年度【主 題】

- クラブ主題** 『選択と集中』 Selection and Concentration 畠平剛志 会長  
**阪和部主題** 「新しい友をつくろう！そして今ある友を大切に！」 鈴木璋三 部長  
Make New Friends, But Keep the Old One is Silver and the Others Gold  
**西日本区主題** 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」 大野 勉 理事  
"Healthy mind & healthy body make healthy club"  
**アジア地域主題** 「ワイズ運動を尊重しよう」"Respect Y's Movement" Tung Ming Hsiao 地域会長  
**スローガン** 「よりよい世界の為に、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」  
"Solidify the Y's Men Family for Better World"  
**国際主題** 「ともに、光の中を歩こう」"Let us walk in the Light-together" Henry J. Grindheim  
**スローガン** 「国境なき友情」"Friendship across the borders"

【今月の聖句】 ローマの信徒への手紙 5章3節 (選・解説 岩坂正雄)

「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む。」

——クラブ員の減少を想うとき、これを苦難と思わず、  
希望につながる努力のときと考えましょう。

## 巻頭言

1年間ありがとうございました 畠平剛志

大阪河内ワイズメンズクラブの皆様、この1年間クラブ運営にご協力いただき、本当にありがとうございました。おかげをもちましてこの1年で、第2回障がい者作品展そしてその後の作品展例会、大阪チャチャバンドとの公開例会を盛況のうちに実施することが出来、また、らくらく車椅子登山も例年通りに実施することが出来ました。

このようなワイズメン以外の方々をお迎えしたイベントは我々も新鮮ですし、外部の方々にワイズメンズクラブを知っていただく好機となっていると思います。来期にも宮本実行委員長のもと第3回障がい者作品展の実施が決まっており、会場押さえなどの準備が進んでいます。こういう活動を続けていけば、やがてワイズメンズクラブの認知

(写真は友人に撮影してもらったオフロードバイクレース前の一コマです。我ながらめっちゃ楽しそう、、、このぐらいの笑顔になれるようなワイズ活動をしていきたいものです。)



度も上がり会員増強にもつながるのではないかと希望を持っております。

しかしながらクラブの現況としては、今年度は大藪メンがお亡くなりになるという悲しいこともありました。また、青野メンがお辞めになられましたので、現在の河内ワイズの正会員は11名となり、YMCAの職員を除けば9名、ついに一桁になってしまいました。この人数で来期のクラブ運営と、横田次期阪和部長をお支えしていかなければなりません。今まで以上に一人ひとりの働きが重要となってきます。特に来期は大藪特別メネットに書記をお受けいただいております、まさにかねてから「メネットあつての河内ワイズ」といわれている通りの体制となっております。メン、メネットかかわらず、ともに良いワイズ活動のため、横田阪和部長、田中会長とともに楽しく活発に活動をしていけることを祈念しております。

## 5月例会報告

5月18日(木) 18:30~20:30 サンホーム6F  
報告 箕浦史郎

参加者 18名

メン：田中、佐古、岩坂、丸尾、畠平、宮本  
横田、杉村、藤井、中野、箕浦

メネット：初田、大藪、丸尾、佐古

ビジター：今井(なかのしま) 恵美奈(サウス)  
金谷美穂(むうリーダー)

4月例会は定刻通り畠平メンの司会ではじまりました。開会点鐘後のゲストビジター紹介がありました。宮本会長から横田メンが元気を取り戻されたこと喜ばしいこと、来季はメンバー数が11名になるが田中会長のもとで河内クラブを横田阪和部長のもとで阪和部を運営していくが「頑張りましょう！」と言葉がありました。サウス恵美奈メンより大阪サウスワイズメンズクラブ鷺谷糸津子メンの急逝等で決定が伸びていたが来期の会長は恵美奈メンが会長に就任されたことの報告がありました。



インフォメーションコーナーでは、リーダーから子ども広場の報告があり、

ぜひワイズメンの皆さんにも来ていただきたいというお誘いがありました。

さて今月の例会プログラムは中野義彦氏と箕浦史郎氏の2人のメンの卓話です。中野メンは「森里海連環学」、箕浦メンは「大阪YMCAの近況」についてです。中野メン「森里海連環学」は文明と水の関連から話は始まりました。



文明が発展するには食料と水の供給が必要である。四大文明も大きな川の周辺で発展した。持続可能な社会の中で特に食料と水は全ての源であり、持続可能な社会を形成するに当たって必要不可欠なものです。しかし人間は畑作を広げるために、森を伐採した。このままでは次世代に残す森がなくなってしまう。そこで森は海の恋人運動が起こり、2014年環境相は中長期計画として「繋げよう、捧げよう森里海プロジェクト」を採択した。未来世代に森を残すためには今からの10年が非常に大切な期間になる。国土の80%が森、そして周り海に囲まれている日本という国は、森と海の大国です。世界的に見てもこのような国はない。今、日本は世界から注目されています。



左 防潮堤(千年の丘)内側に観音寺が実生されています

右 津波により陥没し海水と真水が混じった池、アサリウナギ等多くの生物の住処



森と川と海の連関、森が海を育み、海が生き物を育む、森と海の間にある人間活動も含める、「つながり」の価値観を見直すこと森から海までの総合学問が森里海連環学です。森里海連環学の目的は、次の世代にそのことをつなげることがゴールである学問、社会の再構築をする学問です。東北太平洋沿岸にコンクリートブロックが作られた

ことに表される、自然を人間がコントロールできるという錯覚。

2014年にニホンウナギが絶滅危惧種に指定されたこと、日本周辺から多くの生き物が失われ、水辺で遊ぶ子どもがいなくなる。水際の創生がなくなっていくこと。時間と空間をつなぐの総体を表したものの持続循環的に進めていくことが必要とされ、森里海連環学が生まれました。

卓話の最後に中野さんは「森里海連環学は創成期の学問である。自然の修復と自然の再生をすることがゴールの学問です。このことは日本への関心と日本が自信を取り戻す次世代への最大の贈り物になるのでは」と問いかけられた。



続いては、箕浦メンから「大阪 YMCA の近況」についてです。

現在大阪 YMCA は新たな時代を迎えようとしています。その一つが次年度4月に開校する予定の水都国際中学校・高等学校です。この学校は大阪市が

設立し、YMCA が運営する日本で初めての公設民営IB校です。私は小さな頃から YMCA に参加することができる恵まれた家庭環境で育ちました。体育やキャンプを通して様々なことを学びました。今、サンホームで行われている子ども広場は、暖かい見守りが少ない環境の中にいる子どもに対して、大人の目があるあたたかい安心できる場所の提供として行っています。このように経済だけでなく環境の格差、文化資本格差があるということが現実です。次年度開校する水都国際中学校・高等学校は国際バカロレア教育を学ぶことができる学校です。国際バカロレア教育は全世界的に広がっている教育で、文科省も国際バカロレア教育を行う学校を200校にしようとして取り組んでいます。ただし、これまで日本でも国際バカロレア教育を進めている学校がありましたが、その授業料は他に比べて非常に高いです。しかし、水都国際中学校高等学校は、公立校ですので、公立校並みの授業料で受講できます。経済格差や環境格差で国際



バカロレア教育に触れることができなかつた青少年が公設民営という形の学校で学ぶことができる。このことは一つの格差を小さくすることができる可能性を持っていると思います。またこれまで YMCA がアプローチできなかった青少年の層にも携わるチャンスが生まれます。公平に教育を受けることができ、「みつかる、つながる、よくなっていく」を体感できる場所が増えます。このことが今 YMCA が取り組もうとしていることの一つです。「来年の開校に向けて今ワクワクしています。ぜひ応援をお願いいたします。」と箕浦メンから最後は水都国際中学校高等学校への応援依頼となりました。

中野メン、箕浦メンに共通なことは、次代を担う青少年への思いでした。

今月は中野メンの結婚記念日でもありました。宮本会長から中野メンにお祝いのプレゼントがありました。最後に閉会点鐘。楽しい時間をありがとうございました。

## 5月ニコニコ語録

\*例会時、出席者全員の一言メッセージ 記：杉村徹

### 佐古メン

今日のお話は難しいお話ばかり…。少し理解するには時間がかかりそうです(笑) 学校事業の拡張も大切ですが、YMCAの志を大切に、東YMCAでのウェルネス事業をもう一度!と思います。私もあと三年は頑張れそうです。よろしく!

### 岩坂メン

同い年の佐古さんが、あと三年と言われたので、私もあと四年は!(笑)と思います。鷺谷会長が先般、天に召されました。恵美奈さんが老体にムチ打って(笑)子クラブである河内に足を運んでいただいて、会長も頑張ってください。

### 今井メン

娘が大学院大学の教授をしています。東京へよく出張しています。箕浦さんのお話し、子どもは無限だと思っています。次の時代を担っていく世代を応援したいと思っています。

### 恵美奈メン

中野さん、箕浦さん、ありがとうございました。YMCAがどういう方向にというのは一部分分かりました。先日、小川総主事がサウスに來られました。ワイズとYMCAの関係はどうなるかと、奈良伝さんの時代の話をしながら尋ねました。YMCAにとってワイズが一奉仕活動グループというのではなくて、ワイズは特別な関係にしていきたいとおもいました。

### むうリーダー

東大阪地域をどう盛り上げるかリーダー会



で話をしています。子ども広場のことをはじめ、皆さんにご支援をお願いいたします。

#### 畠平メン

今日はお話しありがとうございました。中野さんのお話し、森川海ではなく森里海というのがおもしろかった。日本カワウソ研究会の友人がいます。韓国の川は汚いけれど、その意味では使われている川で、そしてたくさんカワウソがいるそうです。38度線を超えると禿山になっています。昔の日本の山もそうだったようです。今は日本の川が本当にいいのか、使っているのかと思います。

#### 中野メン

今日はつたない話で申し訳ありませんでした。畠平さんのお父さんも「うなぎのもり」ということで活動されているようです。山には木がなければならぬ。落ち葉が溜まって腐敗して鉄やイオンができ物質と結合し、山から海へと流れ食物連鎖が始まる。(すみません…以下省略)

#### 箕浦メン

中野さんの後の話で緊張しました。河内ワイズは実家みたいなもんです。なかなか足を運べませんが、リーダーたちは頑張っています。一つの運動が生まれていると思います。

#### 田中メン

中野さんのお話し、うらやましかったです。持続可能性というのは昔勉強しました。私は今、クラブの持続可能性ということ(真剣!)で頭の中がいっぱいです。

#### 大藪メネット

中野さん、普段分かっていながらもスーッと話をいただいて、勉強になりありがとうございました。箕浦さんも40半ばとなり、近所のおばちゃんとしては(笑)嬉しかったです。

#### 丸尾メン

ありがとうございました。中野さんのお話を聞くのは久しぶりの感じでした。私は月に二回ほどラジオ番組をもっていました。コンクリートでできた一番大きなものは何?という話になり、大都会そのものがコンクリートだと答えました。昔遊んだ寝屋川にもうなぎの稚魚がいっぱい上がってきたんです。そんなことを思いながら聞かせていただきました。箕浦さんのお話はワイズの中で培われてきたものだと、その姿勢をひしひしと感じることができました。一方で私たち自身も、自分が何ができるかを言うことが大切だと、そう思いました。それから阿南50周年の式典にもまいりました。多くの青年を送り出していることを改めて認識しました。



#### 横田メン

4月末から10日間入院しました。看護師の見習いの方、ミャンマーの方でした。大和さんのお名前が出ました。和田さん、恵美奈さんのお名前を知っていました。楽しい!?入院生活でした(笑)。

来月から部長として頑張ります。よろしくお願ひします。

#### 藤井メン

武田さんにお会いして、「箕浦さんは頑張っているよ」と言っていました。箕浦さんって誰?と言う娘に「史郎さんやん」と言うのと「え!?史郎」と呼び捨てでした(笑) 池田さんにも会いたいと思います。

#### 宮本メン

メンバーのスピーチと言うのは、どんなことをどこでしているのかをよく分かって、本当にいい例会だなと思いました。キッチンオリタに初めて取りに行きました。オリタさんは昼だけの営業だそうで、いつもわざわざ待ってくださっていることを知りました。感謝したいと思います。

#### 丸尾メネット

中野さん、久しぶりにありがとうございます。箕浦さんもYMCAも変わっていくんだと思いました。リーダーも来られてありがたいと思います。

#### 初田メネット

中野さん、さすが勉強しているなと思いました。箕浦さんのお父さんにはよく会っているんです。先日お父さんに会った時の話が、今日、よく分かりました。ありがとうございました。

## 5月役員会報告

記：宮本桂子

日時：2018年5月24日 19:30~20:30

出席者：畠平・田中・横田・望月・丸尾

・宮本・丸尾メネット

#### 《議題》

1>6月例会部長公式訪問(担当AB班)

食事前：望月

受付会計：藤井

司会：宮本

開会点鐘：畠平

ワイズソング：一同

ゲスト、ビジター紹介：司会

会長の時間：畠平

部長公式訪問

部長挨拶

会長交代式

主査挨拶

聖句朗読：田中メネット

食前感謝：岩坂

食事、歓談

インフォメーション

各事業部報告

ブリテン 望月 Yサ・ユース 中野

地域奉仕・環境 田中 EMC 横田

- 国際・交流 丸尾 広報・情報 畠平  
 メネット会 望月メネット  
 誕生結婚：会長  
 にこにこ：メネット 当日指名  
 YMCAの歌：一同  
 閉会点鐘：田中  
 2>7月号ブリテン (印刷日 7/5)  
 巻頭言：田中  
 例会報告：畠平  
 役員会報告：大藪  
 サンホームニュース：杉村  
 YMCA ニュース：切通  
 西日本区大会報告：畠平  
 締め切り 6月 29日  
 3>西日本区大会について  
 バナー運搬 望月  
 バナーセレモニー 会長代理・・望月  
 4>障がい者作品展について：宮本  
 作品募集のチラシについて検討した

## YMCAサンホーム

「ともに歩む！」

今年も「東大阪市ふれあい祭り」に、YMCAサンホームから出展しました。当日は朝から雨と、あいにくの天候ではありましたが、おかげさまでストラックアウトには 353 人の子供達



参加があり大盛況となりました。雨のため、限られた人数でしたが、特養の入居者の方々にも参加していただくことができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

また参加できなかった方々にも、たこ焼きやフランクフルトなどの食べ物を特養内でご提供することで、少しでもお祭りの雰囲気を味わっていただくようにしました。

このプログラムの為に、多くのスタッフが買い出しや人員配置などの計画を行い、たくさんの時間を費やしました。しかし、当日の子どもたちの笑顔やご入居者の様子を見てみると、「やっぱり頑張ってよかったな」と思うのです。YMCAがウェルネス事業を中心にしてきた時期から今日まで、事業は変われど、YMCAが地域と「ともに歩む」姿勢は変わりません。高齢者や子どもといった対象にとらわれるのではなく、一人ひとりに向き合い寄り添うYMCAでありたいと願います。

## 東YMCAリーダー会

切通菜摘

今年度がスタートし、もうすぐ2ヶ月になろうとしています。子ども広場のお友だちも新たなメンバーが加わり、毎週水曜日を楽しみにしているようです。今年度の子ども広場でも、昨年度に続いて「お泊り会」のようなものを作りたいなあとリーダーたちも希望を膨らませています。これから、子ども広場のお友だちと一緒に、企画していく予定です。企画の実現に向けてお力添えをいただけましたら幸いです。

また、リーダー会でも、新しいリーダーを迎えるためのリーダー説明会もおこなないました。それぞれ、体験を行い本格的にリーダー活動がスタートしていきます。新しい仲間を迎え 2018 年度の活動も実りあるものとしていきたいと思ひます。



6月 リーダー会

6月 18日(月) 19:15~

@サンホーム

## HAPPY BIRTH DAY 6月

2日 佐古 利子さん

4日 中西 伸子さん

WEDDING ANNIVERSARY 該当者ナン

ワイズの評価発表の月です。

発表のご準備をお願いします。

Yサ・ユース委員長・・・・・・中野義彦  
地域奉仕・環境委員長・・・・・・田中惟介  
EMC委員長・・・・・・横田憲子  
国際・交流委員長・・・・・・丸尾欽造  
広報・情報委員長・・・・・・畠平剛志  
メネット会 会長・・・・・・望月治子  
ブリテン編集委員長・・・・・・望月 強

### 編集後記

この1年間みな様のご協力の内終えることができました。当初は田中メンの作成した Word を手本にそのまま使用して切り抜けました。少しでも自分自身の達成感を味わうために初級 Word 読本を購入して学習しました。最後の仕上げは岩坂先生のチェックです。当クラブメンですがあえて先生と呼ばせて頂きます。毎月の聖句と解説を頂きましたが、岩坂先生の毎回チェックがなければ、間違いだらけのブリテンになっていたことでしょう。

投稿して頂いた方、読んで頂いた方すべてに感謝申し上げます。有り難うございました。 望月強

## 6月 例会プログラム

### 評価・計画 強調月間

6月21日 木曜日

司 会 宮本桂子  
開会点鐘 畠平会長  
ワイズソング 一同  
ゲスト、ビジター紹介 司 会  
会長の時間 畠平剛志  
阪和部長挨拶 横田憲子  
会長交代式 横田部長  
聖句朗読 田中メネット  
食前感謝 岩坂正雄  
寄付金贈呈 飯沼メネット主査  
(杉村 徹)  
事業報告 各事業委員長  
結婚・誕生祝い 畠平会長  
にこにこ メネット  
YMCAの歌 一同  
閉会点鐘 田中惟介  
場所 YMC A サンホーム 6 F

### メネット会のお知らせ

6月21日 午後5時30分より  
来期に向けてのお話し合いを開きます。

## 評価・計画 西日本区強調月間 6月

10の目標のうち、5割達成できれば上出来。さあ、あとひと月、あなたの目標達成度を、あと1割引き上げましょう。実践を通して。

大野 勉西日本区理事（神戸ポート）

会員数（連絡主事を含む）	12 名	ゲスト・ヴィジター出席数	3 名	にこにこ献金
広義会員・功労会員数	2 名	メネット・コメント出席数	4 名	前月迄 109,476 円
特別メネット	3 名	功労会員・広義会員出席数	2 名	5月にこにこ献金
5月例会出席者数（会員）	9 名	5月例会出席者総数	18 名	14,201 円
メイクアップ	1 名	5月 役員会出席者数	7 名	今期累計
5月の出席率	83.33%	5月例会充足率	150.00%	123,677 円

### 第43期クラブ役員

会 長:畠平 剛志 副会長:田中惟介 書 記:横田憲子・ 会 計:望月 強・藤井敬子

メネット会長:望月治子 直前会長:宮本桂子 連絡主事:杉村 徹

例会場・役員会場 : サンホーム 東大阪市御厨南3-1-18 TEL 06-6787-3733

大阪河内クラブホームページアドレス <http://kawachi-ys.org/>